

会 告

大会の開催と論文の募集

本会は来る11月18(金), 19(土)の両日に東京において, 第1回大会を開催する. 会場その他の詳細は改めて次号で公告するが, 大会において論文の発表を希望される会員は, 取り敢えず9月15日までに講演の題目と内容の概略を300字程度に書いて, 学会へ申込みたい. 大会当日までには予講集を刊行する予定なので, そのための原稿は改めて提出をお願いする.

場所: 月例講演会

1. 8月26日(金)午後1時半

場所: 電機工業会館講堂

(都電・バス溜池下車, 地下鉄議事堂前下車)

議題: (電気通信学会電子計算機委員会と共催)

(1) エサキ・ダイオードによる記憶装置

高橋 茂君(電試)

石井 治君(〃)

(2) エサキ・ダイオードの特性の不均一性の影響

をあまり受けない新しい論理回路方式(将棋倒し式振動方式)

駒宮安男君(電試), 杉山武二君(〃)

田島裕昭君(〃), 緒方和男君(〃)

(3) エサキ・ダイオード・パラメトロン動作特性

伏見和郎(通研)

予稿は当日会場で実費配布.

2. 9月21日(水)午後2時

場所 産経会館(6階 604号室)(地下鉄大手町下車)

議題: (プログラム懇談会と共催)

(1) 輸送問題の新しい解法

高田 勝君(東大・工)

(2) モンテ・カルロ法による電離係数などの計算

伊藤富造君(通研)

武者利光君(〃)

(3) その他

予稿は当日会場で実費配布.

会 誌 へ の 寄 稿 規 定

(1) 寄稿者は原則として本会会員に限る.

(2) 本会所定の原稿用紙(申込み次第送付する)に執筆のこと.(雑誌1ページは本会原稿用紙で7枚)

(3) 寄稿の種類

1. 論文(長さは刷上り6ページ以内, 題目, 著者名, 所属の英訳を付ける)

学術および技術に寄与する新しい研究成果

2. 紙上討論(長さは刷上り1ページ以内)

本会誌に掲載された事項に関する討論およびそれに対する原著者の回答.

3. 寄 書(長さは刷上り1ページ以内)

論文とするほど纏まつたものではないが, 学術および技術に寄与する新しい研究成果あるいは考察など.

4. 会員の声(長さは刷上り2ページ以内)

学術または技術について会員一般の関心を促す

ための意見, 本会の事業および動向に対する批判や意見など.

5. 文献紹介(長さは刷上り0.5ページ以内)

紹介したい原著の題目を学会に照会の上, 寄稿せられたい. 掲載の節は謝礼を呈する.

6. ニュース(長さは刷上り0.5ページ以内)

ニュース源の紹介, ニュース記事のいずれでもよい. 掲載の節は謝礼を呈する.

(4) 寄稿の採否

寄稿は常務理事を含む幹事会が決定する. また要旨だけ掲載する場合もある. 前項1および3に該当するもので, 本会受付前に, 他の公開出版物にほぼ同じくらい詳しく掲載されたものは, 原則として掲載しない.

(5) 原稿の送付先 東京都港区芝西久保巴町35

電子工業振興協会内 情報処理学会

(6) 別刷 50部著者に贈呈. それ以上は有料.